独立行政法人 造幣局
JAPAN MINT

採用案内
令和７年度版

信頼と挑戦

－貨幣の信認維持と国民生活向上のために－

150年の歴史と伝統を受け継ぎながら、新たな課題に挑戦します

Message

造幣局は、明治４年(1871年)に近代国家として全国統一の新たな貨幣制度を確立するため、大阪の地に開設されました。それ以来、経済活動・国民生活の基盤である貨幣を製造、供給して、日本の発展とともに歩み続け、令和３年(2021年)に創業150周年を迎えました。

造幣局の経営理念は『信頼と挑戦』です。創業期の人たちがそうしてきたように、「何ごとも恐れず挑戦し、どんな困難も乗り越えて行く」という伝統をこれからも受け継いでいく必要があります。造幣局では、新たな課題に前向きに挑戦する若手職員に対しては、その姿勢を高く評価して、失敗を恐れず積極的に挑戦できる環境を整えています。若手時代に自ら考えて試行錯誤し、先輩から叱咤激励を受けながら成し遂げた仕事は言葉にならない満足感を与えてくれます。このような満足感の積み重ねが仕事を面白くし、当事者意識を芽生えさせ、ひいては組織を発展させていきます。経験を重ねるなかで、全てを自分自身の問題と考え、全体の状況を判断しながら自分がどう動けばよいのか常に考えることのできる職員こそが、造幣局の更なる飛躍の原動力になると信じています。

造幣局は平成15年４月に独立行政法人となり、平成27年４月からは行政執行法人として運営していますが、高品質で純正画一な貨幣の確実な製造等の業務を効率的・効果的かつ透明性をもって行うという、社会的使命は何ら変わるものではありません。また、貨幣の製造以外にも、公共性の高い勲章・褒章等の製造や品位証明、企業的要素の高い貨幣セット販売などの事業を行うことで、貨幣の信認維持と国民生活向上への寄与を目指しています。

これからも造幣局は社会の要請と時代にあわせて自らを変革しなければなりません。生活スタイルの変化への対応やワーク・ライフ・バランスの実現を目指した働き方改革もその一つです。造幣局の未来を描き、未来を切り拓いていくためには、皆さんの柔軟な発想と好奇心、失敗を恐れないチャレンジ精神が力となります。皆さんに大いに期待しています。

是非私達と一緒に、国民の皆さんのために貢献していこうではありませんか。

使命

高度な技術をもって次の事業を確実に実施するとともに、貨幣に対する国民の信頼を維持するために必要な情報を提供し、通貨制度の安定及び国民生活の向上に寄与する

✓純正画一で偽造されない貨幣を、合理的な価格で安定的かつ確実に供給すること
✓国の文化を象徴する記念貨幣及び技術やデザインを工夫した収集用貨幣セットを販売し、国内外の多様なニーズに応えること
✓練達した技術により、国家・社会への功績を称えるに相応しい重厚で品格のある勲章や褒章を製造するとともに、精巧で美麗な金属工芸品を製造して国民に魅力的な製品を提供すること
✓高度で確実な技術により、公的主体として品位証明及び精製・分析のサービスを行うこと

組織

理事長
　理　事
監　事

首席監察官
首席監査官

総務部 経営に関する基本方針の策定・全体の総合調整
総務課　経営企画課　調整室　広報官　広報戦略室　博物館　人事課
職員課　契約・保有資産監理官　経理課　情報システム課　研修所

事業部 貨幣セット並びに勲章及び金属工芸品の製造・販売
事業企画課　製品開発室　販売事業課　海外業務課　装金課
装金極印課　工芸課

貨幣部 通常貨幣及び記念貨幣の製造
管理環境課　生産管理課　貨幣課　貨幣製錬課　貨幣極印課　施設課

研究所 貨幣の真偽鑑定、偽造防止等に係る研究等
研究管理課　試験鑑定課　研究開発課

さいたま支局 プルーフ貨幣の製造、貴金属製品の品位証明等
総務課　広報室　販売・顧客サービス室　事業調整課　貨幣課

広島支局 通常貨幣の製造等（貨幣材料溶解、圧延板製造等）
総務課　作業管理課　溶解課　貨幣第一課　貨幣第二課　保全課

令和７年１月１日現在

職員数

・本局	約 540 人
・さいたま支局	約 110 人
・広島支局	約 210 人
計	約 860 人

Coin Manufacture

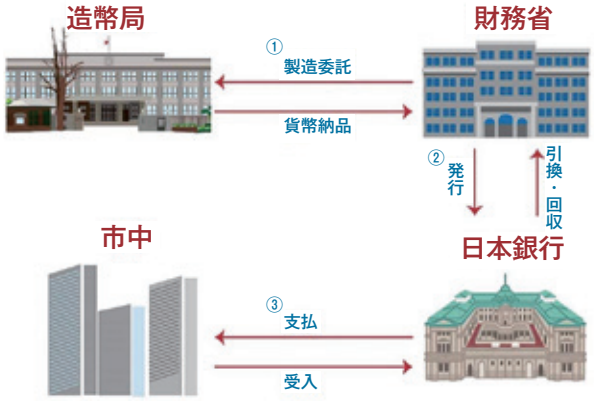
貨 幣 の 製 造

時代は変わっても、貨幣づくりに対する姿勢は変わりません

造幣局では、１円貨から500円貨までの６種類の通常貨幣を製造しています。

貨幣は、材料を溶解し、圧延・圧穿・圧縁・圧印・検査工程を経て製造されます。当局では純正画一で偽造されない貨幣の安定供給のため、製造技術や偽造防止技術の向上に努めています。

貨幣の製造～流通の仕組み



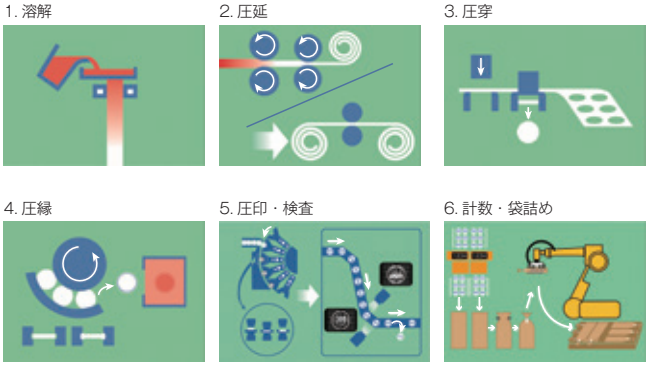
年度毎の貨幣の製造枚数が財務省において決定され、造幣局は財務省から製造委託を受け、締結した契約に基づき貨幣を製造します。

造幣局で製造された貨幣は全て財務省を通じて日本銀行へ納められますが、この「政府から日本銀行への貨幣の交付」をもって、貨幣は「発行」されたことになります。

発行された貨幣は、日本銀行から一般の市中金融機関へ渡り、市中金融機関から皆様のお手元に渡ることとなります。

通常貨幣の製造工程

溶解工程



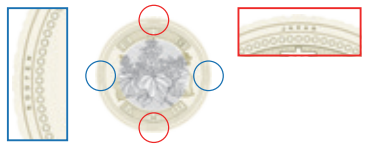
圧印・検査工程

貨幣の偽造防止と安定供給

2021年11月から発行を開始した500円貨幣には、最新の偽造防止技術が採用されています。

■ 偽造防止技術①（微細文字）

切削加工、微細加工の限界に挑んだ技術です。



貨幣の縁の内側にミクロの精密加工で文字が彫られています。
左右「500YEN」 上下「JAPAN」

■ 偽造防止技術②（潜像）

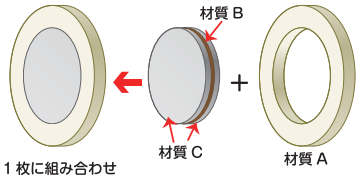
貨幣を見る角度の違いによって文字等が見え隠れする技術です。

■ 偽造防止技術③（異形斜めギザ）

大量生産型貨幣では世界で初めて導入された技術です。斜めギザの一部に形の違うギザを入れることによって、視認性を向上させると同時に、偽造抵抗力を大きく高めます。

■ 偽造防止技術④（バイカラー・クラッド）

「バイカラー」技術は、リング状の金属の内側に、材質の異なる金属をコアとしてはめ合わせる技術です。「クラッド」技術は、異なる種類の金属板をサンドイッチ状に挟み込む技術です。この２つの技術を組み合わせて、１枚の貨幣を製造しています。



記念貨幣の製造

造幣局では、国家的な事業を記念して発行される記念貨幣を製造しています。

左から

- ●東京2020オリンピック競技
  大会記念　一万円金貨幣
- ●２０２５年日本国際博覧会記念
  千円銀貨幣
- ●国立公園制度１００周年記念
  千円銀貨幣
- ●天皇陛下御即位記念
  五百円バイカラー・クラッド貨幣

高度な偽造防止技術の導入

記念貨幣には、現行の通常貨幣で使用している偽造防止技術に加え、さらに高度化された種々の偽造防止技術を導入しています。

■ 虹色発色加工技術

近年製造している記念貨幣等には、虹色発色加工技術が採用されているものがあります。虹色発色加工技術とは、貨幣表面に非常に微細な溝を作ることによって、光の回折・干渉を起こし、虹色に輝いて見えるようにする加工技術です。貨幣を見る角度が変わると、加工部が７色にキラキラと輝きながら変化するため、通常の着色などでは表現できない視覚効果を可能としています。

虹色発色加工技術は見た目で判別しやすい偽造防止技術です。

虹色発色加工のイメージ

新幹線鉄道開業50周年記念
千円銀貨幣

勲章・褒章の製造

匠のこだわりが生み出す勲章
― それは世界に誇れる芸術です

造幣局は、内閣府賞勲局からの発注を受けて、勲章・褒章を製造しています。

勲章・褒章は国家または公共に対し功労のある方や、各分野において優れた行いのある方に授与されるものであり、美麗・尊厳・品格を兼ね備えていることが要求されます。このため、熟練した職員が細心の注意を払って製造しています。

Ⓐ桐花大綬章(正章)
Ⓑ大勲位菊花大綬章(正章)
Ⓒ旭日大綬章(正章)　Ⓓ宝冠大綬章(正章)
Ⓔ文化勲章　Ⓕ瑞宝大綬章(正章)　Ⓖ褒章

勲章の製造工程

1 勲章の大きさに打ち抜いた材料板に模様をプレスし、輪郭にそって打ち抜き、切り抜きを行います。

2 ヤスリで形を整えます。

3 七宝が入る部分に「ゆう薬」を盛り付けます。
その後、電気炉に入れて「ゆう薬」を焼き付けます。

4 羽布(ばふ)で研磨して光沢を出し、必要な部分には金メッキをします。
部品を組み立てて完成です。

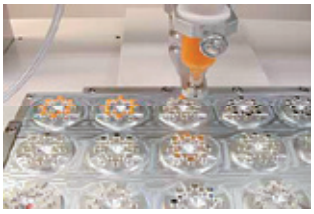
Point 《機械の導入による効率化》

勲章の製造については、培われてきた伝統技術の確実な維持・継承に取り組むとともに、機械の導入などによる一層の効率化を図っています。

■ 機械の導入例

七宝自動盛付機による盛り付け作業

一部の勲章については、七宝ゆう薬の盛り付けに自動盛付機を導入し、効率的に作業を行っています。



自動研磨機による研磨作業

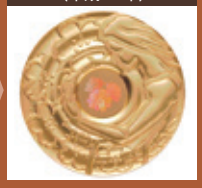
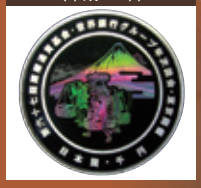
ゆう薬を焼き付けた後、表面を滑らかにするために作業者が砥石で研磨をしていますが、一部の勲章については自動研磨機を導入し、効率的に作業を行っています。

金属工芸品の製造

金属工芸品製造に用いる高度な技術は、貨幣製造技術の維持・向上に寄与します

〔虹色発色加工技術の場合〕

試験研究

実用化段階（平成22年）	工業化段階（平成23年）	貨幣へ適用（平成24年）
		
平成22年桜の通り抜け記念金メダル	造幣東京フェア2011プルーフ貨幣セット用925位銀メダル	第67回国際通貨基金・世界銀行グループ年次総会記念千円銀貨幣

少量生産で実用性を確認 → 生産性を確認 → 貨幣へ適用

技術の向上の推移

皆様のニーズに ― 伝統の技が応えます

造幣局では、公共性の高い金属工芸品を受注製造するほか、偽造防止技術をはじめとする貨幣製造技術の維持・向上のため、金属工芸品の製造を行っています。

■ 金属工芸品の数々

国民栄誉賞

東京オリンピック入賞メダル（金）

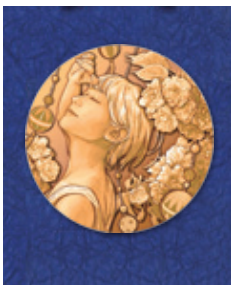
札幌冬季オリンピック入賞メダル（金）

長野冬季オリンピック入賞メダル（金）

七宝章牌「高山祭」

純金干支十二稜メダル（巳）

国宝章牌「迎賓館赤坂離宮」（銀）


令和６年桜の通り抜け記念メダル（銅）

Sales of Coin Sets

貨幣セット等販売

令和7年記念日貨幣セット

桜の通り抜け2024プルーフ貨幣セット

あの日、あの時の『感動』をカタチに
― 永遠に刻む力があります

造幣局では貴金属を用いた金貨幣や銀貨幣を製造しており、これらの貨幣は、製造に要する費用が額面を超えるプレミアム貨幣として販売しています。このほか、未使用の500円から1円までの通常貨幣と年銘板（製造年を示すメダル）をケースに収めた多種類の貨幣セットを販売しています。

Point 魅力的な製品開発を目指して

「ゴジラ」は、老若男女問わず国内外の多くの人々から親しまれており、第１作目の映画公開から令和６年で70周年を迎えました。造幣局ではこれを記念した貨幣セットを販売し、多くのお客様からご好評をいただきました。

造幣局は、他にも記念行事や世界遺産等様々なテーマを用いた、魅力的な製品開発に力を入れています。

ゴジラ70周年貨幣セット

ゴジラ70周年2024プルーフ貨幣セット

TM&© TOHO CO.,LTD.

Fineness Certification of Precious Metal Wares,etc.

貴金属製品の品位証明等

公平・中立な化学の眼 ― それが安心を提供します

貴金属製品の品位証明業務は、製造・販売を行っている業者からの依頼に応じて品位試験を行い、この試験に合格したものには、証明記号（マーク）を打刻してその品位を証明しています。

この品位証明記号を通称「ホールマーク」といい、国民の皆様からの信頼も厚く貴金属製品の取引の安定と消費者保護に貢献しています。

また、貨幣材料の分析及び試験で培ってきた技術を応用した各種分析及び試験を行っています。

海 外 業 務

世界に学び学ばれ、
海外に広めたい技術と熱意があります

世界造幣局長会議をはじめとした国際会議に積極的に参加し、最新の貨幣製造・偽造防止技術等について、各国の造幣局や通貨当局等との情報交換を行っています。

世界の造幣技術の発展のために情報交換を行っています

■ 世界造幣局長会議（MDC：Mint Directors Conference）

各国の造幣局長が出席する国際会議で、貨幣に関連する諸問題や共同解決等に関する情報交換の場となっています。具体的には、製品開発、工程改善、販売等における取り組み事例や貨幣を取り巻く各種状況等についてセッションが設けられ、各国の造幣局から成果や調査結果等が発表されます。

MDCオタワ2023

■ ワールド・マネーフェアー（WMF）への参加

ワールド・マネーフェアーは、毎年ドイツで開催される記念貨幣等についての世界最大規模のトレードショーで、造幣局も毎年参加してブースを出展するほか、さまざまな国の造幣局やメーカー、貨幣販売業者と意見交換を行っています。

貨幣販売業者との意見交換

■ 海外との情報交換

造幣局は、海外の造幣局や国立銀行等からの視察や研修を積極的に受け入れています。また、造幣局の職員が各国の造幣局を訪問して意見交換や技術交流を行い、諸外国の貨幣動向や技術について情報収集をしています。

海外での技術交流

外国貨幣の製造を通して、海外の友好国との関係を深めています

海外の友好国へ貨幣の受注活動を積極的に展開しています。

平成24年に戦後初めて一般流通貨幣であるバングラディシュ２タカ貨幣の製造を受注したほか、令和５年には日本とカンボジアの友好70周年を記念する銀貨幣を受注するなど、多くの国々の記念貨幣を製造しています。

海外から貨幣を受注し製造することは、その国との友好関係を深めることに大いに貢献するものであり、造幣局の存在意義は大変高まっています。

「日カンボジア友好70周年」記念カンボジア5,000リエル銀貨幣
カンボジア首相への贈呈（令和5年12月）

（写真提供　内閣広報室）

新規採用職員へインタビュー

研究所 研究管理課 係員
令和６年
【総合職（工学）】

Message 学生のみなさんへ

このパンフレットをご覧になった方が少しでも造幣局の新たな魅力に気づき、興味を持っていただけたら幸いです。また、働いてからではできないことがたくさんあります。勉強、遊び、就職活動等やることが多く大変かと思いますが、悔いのない充実した学生生活を過ごしてください。

● 造幣局を志望した理由

学生時代に学んだことを生かせること、多くの人々に影響のある仕事であること、という２つの軸を持って就職活動に取り組んでいました。その中で、造幣局で働いている大学の先輩のお話を聞き、理系として学んできた知識を生かせ、また日本国民の生活の基盤を作る仕事であると感じたため志望しました。さらに本局が大阪にあるということも魅力的でした。

● 就職活動時のこと（試験勉強や面接で工夫したことなど）

国家公務員試験の試験範囲は莫大であり、また専門分野の範囲が自分の大学時代の専攻とは異なっていたため、勉強の取捨選択を確実に行っていました。面接では自分のことを素直に話すことを意識していました。また、研究内容の説明の際は、専門用語はなるべく使わないように心掛けていました。

● 現在の業務内容

造幣局内だけではなく外部の方とやり取りをすることも多く、具体的には貨幣鑑定・地金の精製・鉱物分析の受付や事務処理等、LBMA（ロンドン貴金属市場協会）への対応、紛争鉱物地金不使用の推進への対応、会議の議事録の作成等を行っています。専門的な用語や英語を用いることもあり、難しく感じることもありますが、自分の成長に繋がっていると感じられますし、一つひとつの仕事を終えたときの達成感がやりがいとなっています。

● 入局前後のイメージの変化

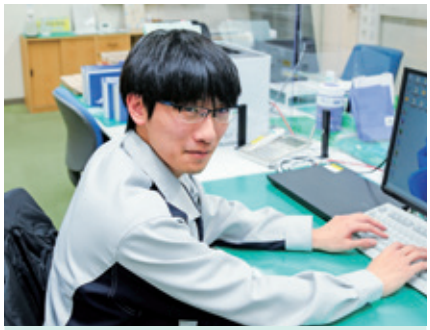
入局前は、造幣局といえばやはり貨幣を製造している、という印象が強かったですが、貨幣製造に直接は関わらない様々な業務があることを知りました。特に、LBMAへの対応等で海外とのやり取りがあるということは、入局してから初めて知りました。

● 職場の雰囲気（指導員や上司との関係、どのようにして職場に慣れたか）

研究所の皆さんはとても優しく、業務にかかわらず様々なお話をしてくださることもあり、大変雰囲気の良い職場だと思います。また、指導員やその他の先輩・上司が業務について詳しく丁寧に教えてくださり、分からないことがあっても相談しやすいので、とても働きやすいと感じています。

● 造幣局で仕事をしていく中での目標

今後、他部署への異動等を経験し、様々な業務に携わることになりますが、それぞれの部署で培った知識を新たな部署で生かし、周りの人から頼られる人材になりたいです。そのためにも今は、担当の業務の本質を理解し、確実に遂行することを目標としています。



事業部 装金課 係員
令和６年
【一般職（化学）】

Message 学生のみなさんへ

就職活動でどこの会社に行きたいかうまく決められない時期だと思いますが、いろいろな企業や官庁などの説明会に行って、働きたい場所を見つけるきっかけづくりが大事だと思います。就職活動の中で造幣局に興味を持っていただければ幸いです。

● 造幣局を志望した理由

大学で行われた説明会で、造幣局の説明を受けたことを機にパンフレット等で調べ始めました。調べていくうちに、公的機関の中でも数少ない製造業を行っている造幣局に魅力を感じました。造幣局に入って、貨幣や金属工芸品の製造に携わり、貢献したいと思い志望しました。

● 就職活動時のこと（試験勉強や面接で工夫したことなど）

専門試験対策の参考書が少なかったため、過去の試験問題を解きながら、関連がありそうな知識を大学の参考書で勉強しました。面接に関しては、回数をこなして、対策していなかった質問に対しても、その場で自分の考えを自然に答えられるように練習しました。

● 現在の業務内容

装金課圧写係に所属しており、造幣局独自の生産管理システムを用いて、勲章、金属工芸品や製造過程で発生した金属屑（金、銀など）の管理を行っています。また、製品に金、銀の品位を示すホールマークの打刻依頼などを行っています。ホールマークの打刻依頼は、製品を圧写係から試験鑑定課に運搬するため、製品を落として傷つけてはいけないというプレッシャーはありますが、普段経験しないことなのでやりがいを感じています。

● 入局前後のイメージの変化

一般職で採用されたので、もっとデスクワークが多いかと思っていました。実際は、現場がある部署に配属されて、デスクワークだけではなく、製品を運んだり、現場で作業を確認したりと、入局前には想像していなかった貴重な体験ができています。

● 職場の雰囲気（指導員や上司との関係、どのようにして職場に慣れたか）

配属された当初は、慣れないことが多く仕事がうまく進められないこともありましたが、上司の方々が丁寧に教えてくださるので仕事が覚えやすかったです。事務職員だけではなく、現場職員ともコミュニケーションが取りやすいので、居心地の良い職場だと思います。

● 造幣局で仕事をしていく中での目標

まずは、現在所属している部署での仕事を覚えて、仕事をうまく進められるようになりたいです。事務職員は数年で異動となりますが、異動後も圧写係での経験を生かして、仕事がこなせるようになりたいです。

令和7年1月1日現在

総務部 人事課 係員
令和６年
【一般職（行政）】

●造幣局を志望した理由

公務員か民間企業か迷っていた中で、造幣局の説明会に参加したところ、貨幣セットの企画や販売を行う部署があることを知りました。公務員でありながら民間企業のような業務に携わる機会がある点に惹かれ、今の自分にぴったりだと感じました。また、説明会で、職員の方が自分の業務を誇らしげにお話しされている姿を見て、こんなふうに働きたいと感じたことも、志望した理由の一つです。

●就職活動時のこと（試験勉強や面接で工夫したことなど）

移動中の電車内や授業の空きコマなどのスキマ時間を、公務員試験で配点の高い民法や憲法の暗記に充てていました。面接対策としては、話している様子を友人に動画で撮影してもらうことで、話すスピードや目線などの自分では気が付かないような発見があったので、誰かに協力してもらうのがおすすめです。

●現在の業務内容

人事課で主に非常勤職員の採用を担当しており、求人票の作成から面接の立ち会い、雇用保険の手続き等を行っています。書類選考から無事採用まで至った際には、安堵と嬉しさが毎回こみ上げてきます。また、叙勲の推薦業務も行っており、東京で行われる伝達式で受章者の方から感謝の言葉を頂いた際には、大きなやりがいを感じました。

●入局前後のイメージの変化

造幣局内部の業務がほとんどだと思っていましたが、財務省や他の官庁とやり取りすることも多く、毎日たくさんの学びがあります。部署にもよりますが出張の機会もあり、ルーティンワークだけではない幅広い業務があることは、良い意味でイメージのギャップを感じました。

●職場の雰囲気（指導員や上司との関係、どのようにして職場に慣れたか）

私のまとまりのない質問にも丁寧に答えてくださり、どうしようか悩んでいたことも上司の方に聞くと案外あっさり解決することが多いです。また、担当業務が違っても気にかけてくださる先輩が多く、仕事とは関係のない話も気軽にできる雰囲気があり、楽しく働けています。

●造幣局で仕事をしていく中での目標

現在は自分の業務を丁寧に正確にこなすことを大切にしていますが、今後は先輩から教わるだけではなく、自ら様々な知識を吸収して、できることを増やしていきたいと思います。将来的には自分の学びを後輩に伝えていけるような職員になりたいです。

Message 学生のみなさんへ

企業や官庁など数ある選択肢の中で、自分が何をしたいのか悩むこともあると思いますが、自分の可能性を狭めず、多くの説明会に参加してみることをお勧めします。少しでも造幣局に興味があれば、就職活動の気分転換もかねて、ぜひ博物館や工場見学に来てみてください！皆さんが希望の就職先で輝かれることを願っています。

貨幣部 施設課 係員
令和６年
【一般職高卒（技術）】

●造幣局を志望した理由

国家公務員試験合格後に、官公庁について調べている中で造幣局が目に留まりました。公務員としては希少な製造業を行っているというところや、貨幣や甲子園優勝校に贈られる優勝楯などの金属工芸品の製造といった造幣局独自の仕事に魅力を感じ、志望しました。

●就職活動時のこと（試験勉強や面接で工夫したことなど）

面接試験で質問されることをあらかじめ予想しておき、大まかな回答を考えて面接試験に臨みました。また、面接練習の際に長く話し続けていると、自分が何を伝えたかったのか分からなくなることがあったので、短い文章で区切るように意識しました。

●現在の業務内容

施設課保全係では、主に造幣局が所有する機械や設備の保守点検を行っており、必要があれば修理も行っています。また、電気・ガス・水道の使用量の把握も行っています。私は現場職員が円滑に作業を進めることができるように、作業上必要となる物品の購入や資格の講習申し込みなどのサポートのほか、外部業者との打ち合わせや工事の監督業務も行っています。

●入局前後のイメージの変化

入局前まで、事務職員と現場職員との関わりは業務連絡などでしかないのかと考えていました。しかし、全くそんなことはなく、仕事を円滑に行うためにも、現場職員との関わりは非常に大切だと業務を行う中で実感しました。

●職場の雰囲気（指導員や上司との関係、どのようにして職場に慣れたか）

とても雰囲気の良い職場だと感じています。業務の内容等だけではなく、仕事の優先順位のつけ方や仕事への向き合い方、自分の感情のコントロールについても親身に教えていただけるので、気を張りすぎずに落ち着いて業務を行うことができています。

●造幣局で仕事をしていく中での目標

自分の職務内の仕事だけではなく、職務外の仕事も行うことができる人材になりたいです。現在所属している施設課では、毎日突発的に修理の依頼等が発生し、自分の仕事で手いっぱいだと上司や先輩の負担が多くなるので、自分の仕事をすばやく終え、先輩方の仕事も引き受けられるように成長したいです。

Message 学生のみなさんへ

就職活動は自分の将来を決める大切なことなので困ったときや大変なときは身近な人に相談してください。きっと力を貸してくれるはずです。また、社会人の心の支えとして、家族や仲がいい友人は非常に大切な存在なので大事にしてください。

先輩からのメッセージ　入局して間もなく10年。今、感じること！

総務部 経営企画課 主任
平成 30 年
【総合職（経済）】

「ヒト・モノ・カネ」の今と将来を考える仕事

● 現在の業務内容

経営企画課に所属し、毎年の予算の管理や収支状況の予測、将来的な人員数の予測・管理や計画の策定等に携わっています。製造を円滑に進めていくにあたっては、製造に携わる「ヒト」、材料や設備といった「モノ」、維持するための「カネ」の計画と管理が必要です。これらの要素は目の前の経営に必要なのは当然のこと、将来的にどうなる見込みか、どうありたいかを考える必要があります。もちろん、こういった経営上の重要な課題を一人で抱えている訳ではなく、経営層も交えて検討していく際の一端として、将来の人員や収支状況のシミュレーション等の検討材料の作成等を行っています。

● 仕事をする上で心掛けていること

業務内容の性質上、多くの方々にご協力いただいて初めて成り立つ仕事が多いです。そのため、人に何かをお願いする際には背景や目的を含めて伝えること、そして何よりも感謝を忘れないことを大事にしています。

また、助けていただくだけではなく、自分の仕事を通じて誰かの助けになれないかを考えながら仕事に取り組んでいます。

● これまでの仕事で印象に残っていること、やりがいを感じたこと

数年前に開始した「造幣局職業体験プログラム（理系対象）」の立ち上げに携わったことです。それまでは１日での職場説明会や工場見学が中心であったところ、採用活動の多様化の一環として、インターンシップのように実際に職場に入っていただく形式を新たに実施できないかと話が上がり、若手有志として企画に携わることになりました。学生のニーズに沿った内容は何か、その中で造幣局において実施できるものはあるか、多くの若手職員から意見をいただきつつくみ上げて、実現に向けて動いた経験が印象に残っています。

ある日のスケジュール

9：00	出勤・メールチェック
10：00	収支見込みの作成
12：00	昼休み
13：30	予算策定に係る打ち合わせ
15：00	幹部レクチャー
17：30	退庁

Message 学生のみなさんへ

就職活動では様々な人との出会いがありますが、ぜひ積極的に話をして、楽しんでいただきたいと思います。また、造幣局はタテ・ヨコ・ナナメの敷居が低く、若手のうちから自分の意見をしっかりと持っていれば、それを実行していくことができる場所です。興味を持たれた方は、ぜひ業務説明会や工場見学、職業体験プログラムに参加ください。お待ちしています。

総務部 総務課 主任
平成 28 年
【一般職（行政）】

規律の面から組織を支える

● 現在の業務内容

総務課の法務担当として、局内規程の改正や文書管理及びコンプライアンス遵守への取り組みに係る業務に携わっています。局内規程の改正については、改正内容の審査や所見書の作成等を行っており、文書管理業務では、造幣局が作成・取得した法人文書を綴ったファイルについて、その分類や保存期間等を記載した管理簿を作成し外部に公表しています。また、コンプライアンス遵守への取り組みとしては、全職員対象の研修の実施や社内報への記事掲載等、定期的な啓発活動を行っています。

● 仕事をする上で心掛けていること

他の職員とのコミュニケーションを大切にすることです。仕事の正確性や迅速性の重要さはさることながら、同僚や上司とまめにコミュニケーションを取ることで、ミスの防止や職場の雰囲気・人間関係を良好に保つことにつながり、長く職場で働いていく上で非常に重要だと感じています。また、プライベートでも同期と夕食に行くなど、交流を大切にしています。

● これまでの仕事で印象に残っていること、やりがいを感じたこと

人事課での採用活動や定年退職手続き等、約３年の在籍期間で様々な業務を経験したことです。中でも特に、業務説明会を通じて採用担当者という立場で学生の皆さんと触れ合えたことは新鮮だったので強く印象に残っています。また、採用活動を経て内定者の方々が４月に入局する姿を見た時には、大きな喜びとやりがいを感じました。

ある日のスケジュール

8：30	出勤
8：35	メールチェック・返信
9：00	規程改正の事前審査
12：00	昼休み
12：45	文書管理システム問い合わせ対応
14：00	文書管理システム運用保守打ち合わせ
16：00	規程改正に係る所見書の作成
17：00	退庁

Message 学生のみなさんへ

就職活動においては悩まれることが多いと思いますが、まずは積極的に業務説明会等に参加し、幅広く情報収集するのが良いのではないでしょうか。このパンフレットを読んで造幣局に興味を持っていただけましたら、ぜひ業務説明会や工場見学にお越しください。

広島支局 保全課 主任
平成 28 年
【一般職（デジタル・電気・電子）】

設備の安全稼働を第一に

● 現在の業務内容

広島支局保全課では、工事の設計・監督、建物・機械設備の点検修理、そして電気・ガス・水道等のライフラインや樹木の維持管理に関する業務を行っています。私の担当は主に、各設備の保守点検作業を外部業者へ委託する際、仕様書の作成等発注に向けて手続きを行い、施工監督を行うことです。また、広島支局にのみ設置されている溶解・圧延設備は、貨幣製造の最初の工程で使用される重要な設備であることから、予防保全体制を導入し安定稼働に努めています。その一環として各職場と修理作業の実施状況の確認を行う会議を定期的に開催しており、会議資料の作成も行っています。

● 仕事をする上で心掛けていること

業務の性質上、毎年行っている設備の点検の手続き等、前例踏襲で進めることが多いのですが、なぜこの点検を行わないといけないのか、しっかりと自分の中で整理し、落とし込んでから手続きを進めるようにしています。前回も同じように実施しているからという気構えで済ませてしまうと自分の成長にもつながりません。

● これまでの仕事で印象に残っていること、やりがいを感じたこと

広島支局に転勤し、配属となった貨幣第一課での仕事です。早番と遅番の2交替制勤務という少し特殊な環境の中で、製造部門の仕事に初めて携わるということもあり、不安でいっぱいでした。製造ラインが一つしかない設備もあり、不具合により機械が停止してしまうと後工程にも大きな影響を与えてしまうため、安定稼働が何より求められる部署でした。必要な修理・点検の実施、部品の購入に係る事務作業が多く、苦労することも多々ありましたが、上司や現場職員の方とコミュニケーションを取りながら、一つ一つ確実に実施していき、各工程の抱える問題を解決していった日々は、今でもとても印象に残っています。

ある日のスケジュール

8：30	出勤
9：00	設備点検の立ち会い
12：15	昼休み
13：00	仕様書の作成
14：30	製造部門との会議
17：00	退庁

Message 学生のみなさんへ

貨幣を取り巻く環境はこの数年で大きく変化していますが、造幣局はそのような時代の変化を受け入れつつ新たな課題に挑戦していこうとしており、いろいろなことにチャレンジできる環境が整っています。造幣局のモノづくりに興味を持たれた方、チャレンジ精神あふれる方、ぜひ一緒に働いてみませんか。

研究所 研究開発課 主任
平成 29 年
【一般職（化学）】

造幣局の技術力向上への貢献

● 現在の業務内容

研究開発課では、造幣局の事業に関する技術の研究をしています。その中で、私は金属の分離・精製に関する調査研究等を行っています。研究を進めるにあたっては、論文を読んだり、学術学会へ参加したりして、現在の研究がより進展するよう情報収集に努めるとともに、収集した情報を活用し、研究チームのメンバーと協力しながら、造幣局の技術力向上に貢献できるよう日々研究に励んでいます。

● 仕事をする上で心掛けていること

報連相を大切にしています。こまめに上司や同僚、関係部署等とコミュニケーションを取ることで、円滑に業務を進めることができると感じているからです。また、上司からの指示等で不明な点がある場合は必ず確認するようにし、齟齬（そご）が生まれトラブルやミスにつながらないように心掛けています。

● これまでの仕事で印象に残っていること、やりがいを感じたこと

財務省本省への出向も含めて、これまで様々な部署を経験しましたが、現在所属している研究開発課での調査研究が印象に残っています。研究を進めていくうちに、思いどおりの結果が得られないことが何度かありましたが、自分の考えだけにこだわらず、上司や同僚の意見も取り入れながら対応策を考え実行し、良い結果が得られたときは大きな達成感を得ました。改めて、固定観念にとらわれず多角的に物事を考える大切さを学びました。

ある日のスケジュール

8：00	出勤・メールチェック
8：15	課内ミーティング
9：00	研究チームで実験内容に関する打ち合わせ
9：30	実験開始
12：00	昼休み
13：00	実験結果まとめ・考察
15：00	決裁文書作成
16：30	退庁

Message 学生のみなさんへ

造幣局に少しでも興味がある方は、ぜひ業務説明会や工場見学に参加してみてください。パンフレットの情報だけでは分からない造幣局の雰囲気を肌で感じることのできる良い機会だと思います。皆さんと一緒に働くことができるのを楽しみにしています。

若手職員の1日

事業部 製品開発室 係員
令和3年
【一般職(行政)】

○職務紹介
貨幣セット等の開発のため、デザイナーや外部機関との連携の下、メダルやパッケージ等の図案作成に関する事務を行っています。

9:00 出勤
まずメールをチェックし、デザイナーから受領した製品図案について、パッケージに記載する説明文を作成します。

10:00 製品パッケージに掲載する写真の収集
製品パッケージでは、過去に発行した貨幣や貨幣の製造工程を紹介することがあります。掲載する写真を提供してもらうため、広報や博物館の担当者に連絡します。

11:00 製品図案の確認
完成した製品図案について、実際にその図案で製造できるのかという技術的な確認や、外部機関への確認を行います。各方面への確認が完了したら、部長、理事及び理事長への説明に伺います。

12:00 昼休み
デスクでお弁当を食べています。昼食後は友人と連絡を取るなどして、午後からの仕事に向かう前に気分転換をしています。

13:00 製品の仕様確認
決定した図案をもとに、発注するケースや説明紙について発注先の会社と相談します。色味や質感等の詳細は、デザイナーに確認した上で決定します。

15:00 製品サンプルのチェック
業者から受け取ったパッケージの印刷見本の確認を行います。デザイナーと共に行う色校正のほか、誤字脱字等がないかチェックする文字校正をしています。

17:30 退庁
退庁後は、友人と食事に行ったり、ドラマを見たりしてリフレッシュしています。

貨幣部 管理環境課 係員
令和5年
【一般職(化学)】

○職務紹介
環境関連法令に基づく届出の作成や、ISO14001の認証の維持に向けた規程の遵守等に携わっています。また、桜樹管理にも関与しています。

8:30 出勤
まずはメールを開き、新たな依頼等を確認します。時期により業務が異なるので、必要に応じて抱えている案件について優先事項や処理の目途等を上司に相談します。

9:00 環境関連法令の確認
環境関連法令の改廃等について情報収集を行い、法的に要求されている事項の確認を行います。また、各課を巡回して遵守状況の確認も行っています。

11:00 桜樹管理の打ち合わせ
桜樹の移植等について施設課との打ち合わせに参加し、議事録を作成します。春頃には桜の通り抜け通路の桜樹の開花状況を１本ずつ確認しています。

12:00 昼休み
同期とお昼ご飯を食べます。漫画の話や何気ない話で盛り上がり、リラックスして過ごしています。

13:00 エネルギーの把握
全局における月ごとの光熱水量と生産量のデータから、単位当たりのエネルギー使用量を算出しています。

15:00 届出の作成
法律や条例で定められた届出を作成します。エネルギーや化学物質などについて、取りまとめたデータを基に資料の準備を行っています。

17:00 退庁
歯医者や整骨院、ピラティスに通うほか、最近は、友人とバドミントンもしています。

さいたま支局 貨幣課 係員
令和4年
【一般職高卒(事務)】

○職務紹介
さいたま支局でのみ製造される「プルーフ貨幣セット(表面が鏡のように磨かれた美しい貨幣のセット)」の製造を行っています。

8:00 出勤
出勤後、事務所と現場それぞれの朝礼に参加します。その後はメール確認のほか、前日の作業実績のデータ入力等を行います。

9:00 量目測定試験の実施
造幣局内の規程に基づき円形(貨幣の元となる金属)の量目測定を行います。現場から試料を受け取り、測定機器を用いて測定作業に取りかかります。

11:00 課内会議への出席
作業予定等についての課内会議に出席します。懸案事項や作業状況についての報告があるので会議内で要点をまとめ、会議後には必要に応じて関係各所と連携して対応を行います。

12:00 昼休み
宿舎が近いので、いったん帰って昼食を取っています。その他、月に何度かは同僚と集まって昼食会を楽しむこともあります。

14:30 極印の要望資料の作成
作業に必要な極印(貨幣に模様を付けるための金型)の製造を本局の関係課に要望するための資料を作成します。作業期間を通じて適切な数量を要望できるように心掛けています。

16:00 夕礼
現場の夕礼に参加し、事務所からの周知事項や現場からの報告事項についての情報共有を行います。

16:30 退庁
定時退庁日には自宅にある趣味の機械部品の手入れをして過ごすほか、都内まで出てライブを観たり買い物に出かけたりします。

広島支局 溶解課 係員
平成31年
【一般職(機械)】

○職務紹介
市中から回収した古くなった貨幣や他の工程で発生した屑板等を溶かし、貨幣の材料となる鋳塊を製造しています。

15:15 出勤(引き継ぎミーティング、メール確認等)
溶解課は2交替制の職場で、遅番の日は15時15分始業になります。メール確認のほか、早番での作業の進捗やトラブル等について事務職員、現場職員を交えて情報共有します。

16:00 点検報告会
溶解課は貨幣製造に関わる設備を多く保有しているため、定期的に保全課や外部業者に点検を依頼しています。点検結果報告を受け、修理の必要があれば速やかに手配を行います。

17:30 決裁文書・報告書の作成
溶解作業で使用する物品の購入や設備修理についての決裁文書を作成します。また、修理作業に立ち会った際には監督報告書を作成し、課内で情報共有します。

19:00 休憩時間
作業にトラブルがなければ、皆で集まって夕食を取ります。世間話や趣味の話に花が咲くことが多く、リラックスできる時間です。

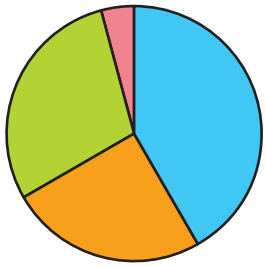
21:00 出湯(しゅっとう)終わり立ち会い
溶けた金属を炉から鋳型に流し終える出湯終わり作業の立ち会いを行います。1000℃近くの金属を扱うため、現場には緊張が走ります。

22:30 鋳塊検査
当日に製造した鋳塊について、次の工程でトラブルになる要素がないかチェックを行います。些細なことでも影響を与える場合があるので、1本ずつ丁寧に確認します。

23:30 退庁
遅番の週は夜遅くの帰宅になりますが、朝をのんびりと迎えられるので翌日の予定を考えつつ就寝します。

若手職員アンケート　入局2年～4年の若手職員に聞いてみました！

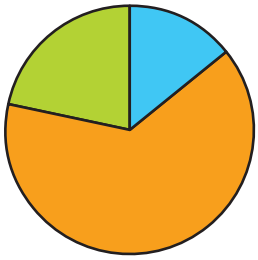
Q1 どんなところに住んでいますか？



公務員宿舎に住んでいる方が多いですが、住居手当もあるので、宿舎から民間の賃貸物件に引っ越す職員も少なくありません。

1時間未満の方が多いという結果に。公務員宿舎の場合は15分未満で通勤可能です！

Q2 通勤時間はどのくらいですか？



※公務員宿舎に住んでいる職員を除く

Q3 ランチはどうしていますか？

本局と広島支局には食堂があり、さいたま支局では宅配弁当サービスを利用できます。食堂では揚げ物やハンバーグ、とんかつといったお肉系のメニューが人気です！

Q4 職場での服装はどんな感じですか？

工場では安全のため作業服を着用しています。また、事務服・作業服は令和6年度からリニューアルされました！

Q5 1年間で何日休暇を取得しましたか？

※令和6年12月初旬時点

土日と連続して休暇を取得し、旅行に行く職員も多いです！

Q6 退庁後や休日の過ごし方は？

職場の先輩とご飯に行ったり、最近始めた編み物に時間を使っています！

同期と休暇を合わせて遊びに行ったり旅行をしたりしています。

友達とご飯に行ったり、ショッピングをしたりしています。

休日は旅行に行きます。大阪は近くで遊ぶにも遠くへ行くにも便利な場所ですので、リフレッシュに旅行はおすすめです！

休日は職場の先輩にアフタヌーンティーに連れて行ってもらいました！

カフェで読書をしながらスイーツを食べる時間が幸せです！

友人とカフェ巡りをしたり、自宅で韓国ドラマを見たりしています。

退庁後は、祖父母宅に晩ご飯を食べに行ったり、映画を観に行ったりします。

趣味の機械整備やドライブ。

ゲームやボードゲームなど。

Q7 職場の雰囲気はどんな感じですか？

穏やかな人が多く、話しやすい職場です。同期や先輩にどんなことでも相談できる雰囲気があります。

のびのびできる。話しやすい。

穏やかな雰囲気です！上司や先輩職員に気軽に相談できるので、とても仕事がしやすい環境です！

年の近い先輩方が仕事を教えてくださるので、何でも聞きやすいです。

上司に相談しやすい環境で、ちょっとしたおしゃべりも気軽にできるので楽しく仕事をすることができています。

気兼ねなく相談事ができる感じがあります。

和気あいあいとした楽しい雰囲気の職場です。上司との距離が近いので、相談しやすいです。若手職員同士のつながりもあるので、部署の垣根を越えて仲の良い職場です。

課内で一体となって情報共有や雑談をしているので、すごく居心地がいいです。

造幣局で一緒に働きませんか？

発言しやすくいい雰囲気です。

皆さん気さくで話しやすい雰囲気です。

明るく風通しの良い雰囲気だと感じています！

仕事と子育ての両立

ワーク・ライフ・バランスの実現を目指す職場で
仕事と家庭の両立支援制度を利用している先輩からのメッセージ

さいたま支局 総務課広報室 主任
平成 19 年【一般職（行政）】

●仕事と家庭の両立にあたり問題や不安はありましたか？

休業から復帰する際には、業務についていけるかどうかという不安がありましたが、上司と同僚に協力していただき、少しずつ仕事と家庭のバランスを取ることができるようになりました。また、休業中に配偶者の転勤に伴って異動することになりましたが、復帰前から上司の方々がご連絡くださったことで、環境の変化等について前もって相談することができ、スムーズに新しい職場で復帰することができました。

●利用した支援制度は？（産前産後の付き添い、育児休業等）

「産前・産後休暇」、「育児休業」及び「配偶者同行休業」を利用しました。

●仕事と家庭の両立にあたって心掛けていること・工夫していることはありますか？

仕事では、サポートしてくださる上司や同僚へ感謝をきちんと伝え、時間内にできること・できないことを明確にし、報告・連絡・相談を密に行うよう心掛けています。子育てでは、一緒に過ごす時間が短くても子どもが安心できるよう、たくさん抱きしめて感謝の気持ちを伝えています。

●支援制度を利用してよかったと思う点は何ですか？

出産や配偶者の転勤等環境の変化があったときでも、支援制度を利用し、時間を経ても業務に復帰できることが最も良い点だと思います。特に、産後の育児休業期間は、大きな環境・身体の変化と責任が生じると共に、赤ちゃんと一緒に人として成長する非常に貴重な期間となりました。感謝と共に他の方が取得する際には協力したいという気持ちになりました。

Message 学生のみなさんへ

仕事も家庭も自己実現の手段の一つです。人それぞれ、適当なバランスを見つけて、充実した毎日を過ごせるのが理想だと思います。造幣局は職員全員がワーク・ライフ・バランスを心掛け、それぞれの生活を尊重し合える職場だと思います。皆さんにお会いできるのを楽しみにしています。

仕事と育児の両立のための行動計画メニュー（女性職員の場合）

Work-Life Balance

育児休業、育児短時間勤務、育児時間、早出遅出勤務、超過勤務の制限等については、配偶者の就業等の状況にかかわらず、取得できます。

子の看護休暇は、負傷や疾病にかかった子の世話のほか、予防接種や健康診断を受けさせるために付き添う場合も取得できます。中学校就学前までの子について取得できます。

妊娠	出産	0 歳	1 歳
深夜勤務及び時間外勤務の制限			
健康診査等のための職務専念義務免除			
業務軽減等			
休息、補食のための職務専念義務免除			
通勤緩和			
産前休暇	産後休暇		
産前産後の付き添い等			保育時間
産後パパ育休			
			深夜勤務、

●育児だけではなく、介護についても同様に休暇等制度が利用できます。

事業部 事業企画課 主事
平成25年【総合職（工学）】

●仕事と家庭の両立にあたり問題や不安はありましたか？

休業から復職する際、スムーズに業務に戻れるかが不安でした。しかし、職場の方々が協力してくださり、休業中に私の担当業務を対応していただいた上で、復職時に休業期間中の出来事や業務の現状を丁寧に引き継いでくださったおかげで、無事に復帰できました。

●利用した支援制度は？（産前産後の付き添い、育児休業等）

第1子と第2子誕生の時は「出産時付添い休暇」と「男性育児休暇」を、第3子と第4子誕生の時は加えて約1か月間の「男性育児休業」も利用しました。また、子供が体調を崩したときは「子の看護休暇」も利用させていただいており、とても助かっています。

●仕事と家庭の両立にあたって心掛けていること・工夫していることはありますか？

子供の看護のため急に休まざるを得ないときがあります。そのため、業務を1人で抱え込まず周囲へ情報共有する、業務はため込まず優先順位を決めて締め切りが近いものから対処する、ちゃんと感謝を伝えるなどといった社会人として基本のことばかりではありますが、基本ほど確実に実行することが大切だと心掛けています。

●支援制度を利用してよかったと思う点は何ですか？

1か月間の「男性育児休業」では、新生児期という二度とない貴重な時間を一緒に過ごせたことが、かけがえのない思い出になりました。また、上の子たちともこれまで以上にじっくり時間をかけて触れ合えたので家族の絆が深まったと思います。

Message 学生のみなさんへ

4人の子育ては大変ですが、子育てをすることで初めて得られた知識・経験・人間関係が良い刺激となって生活の張り、そして仕事へのモチベーションにつながっています。モチベーションづくりの方法は家庭だったり趣味だったり人それぞれです。試行錯誤しながら自分に合う方法を見つけて、これから始まる長い社会人生活を精力的に頑張っていってほしいです。

男性職員も、産前産後時の休暇や育児のための各種休暇等制度が利用できます。

育児休業取得率
男性　55%
女性　100%
（令和５年度実績）

長さは取得可能期間を示します。

- 母性保護のための制度（女性）
- 出産時のための制度（女性）
- 出産時のための制度（男性）
- 育児のための制度（女性・男性）

早出遅出勤務は、小学校入学後も放課後児童クラブ等に通う子を送り、または迎えにいく場合にも利用できます。

- 育児休業
- 育児短時間勤務
- 育児時間
- 早出遅出勤務
- 超過勤務の制限及び超過勤務の免除
- 深夜勤務及び超過勤務の制限
- 子の看護休暇

2歳　3歳　4歳　5歳　6歳

採用関係情報

給与

国の機関に勤務する一般職国家公務員は、一般職の職員の給与に関する法律の適用を受け、給与が支給されます。

一方、造幣局の職員は国家公務員ですが、当該法律の適用対象外であり、内規として給与規程を定め、給与が支給されます。なお、給与制度に関しては、概ね国と同様の給与体系となっています。

初任給	総合職（院卒者）	268,810円
	総合職（大卒程度）	252,630円
	一般職（大卒程度）	241,630円
	一般職（高卒者）	206,430円

（大阪市で勤務する場合の地域手当を含む、令和6年度実績）

その他にも扶養手当・通勤手当等が支給されます。また、年2回賞与（期末手当、奨励手当）が支給されます。

福利厚生

◆健康管理

健康診断を定期的に実施し、また、そのフォローアップも行っています。

◆共済制度

造幣局採用と同時に財務省共済組合の組合員となります。共済組合員は、病気、負傷、出産等に関して給付を行う短期給付や退職後に年金として支給される長期給付を受けることができます。また、臨時に必要とする支出に対する生活資金等の貸付制度もあります。

サークル活動

健康と明朗さを保ち、職員相互の親睦を図るため各種スポーツや文化・趣味をテーマに、様々なサークルが活動しています。各種団体が主催する大会にも参加して優秀な成績を収めています。

◆スポーツ

野球、バレーボール、テニス、卓球、弓道など

◆文化・趣味

音楽、茶道、書道など

勤務時間、休日休暇

◆勤務時間

製造部門の部署に配属される職員は午前8時から午後4時30分、庁舎・管理部門の部署に配属される職員は午前9時から午後5時30分までの勤務となります（いずれも7時間45分勤務（休憩時間は45分））。なお、庁舎・管理部門のうち、一部の部署については時差勤務（午前7時～午前11時の間に出勤）が可能です。

◆在宅勤務

在宅勤務が可能な部署では、育児・介護の必要がある職員や、病気や怪我のために通勤が困難な場合など、所定の要件に該当すれば、端末を持ち帰り、在宅勤務を行うことができます。

◆休日

土曜日、日曜日、国民の祝日、年末年始が休日となります。

◆休暇

有給休暇としては、年に20日（４月１日採用の場合は15日、残日数は20日を限度として繰越可）の年次休暇、病気休暇、特別休暇（夏季、結婚、出産、子の看護、ボランティア、忌引など）が付与されます。

- 年次有給休暇の取得率　91.0%（令和６年実績）

配属

造幣局採用後、まず本局の研修所において約２カ月間、造幣局職員としての必要な基礎知識を身につけるための新規採用職員研修を受け、その後、各職場に配属となります。

なお、配属先においては、所属の先輩職員が専属の指導員として付き添いますので、安心して業務を行うことができます。

毎年職員から、勤務地、部署などの希望を申告する機会があります。職員の配属に際しては、申告のあった希望や、能力、適性、業務上の要請などを総合的に勘案して行います。

研 修

造幣局では、公務員として求められる高い能力や資質に加え、全体の奉仕者としての使命感や倫理観を持った人材の育成が極めて重要であるとの認識の下で、職場や職員のニーズに合った様々な研修を実施しています。また、専門的知識及び技能の習得を図ろうとする職員の自己啓発意欲を促進・向上させるため、通信教育による学習活動の支援も行っています。

新規採用職員研修

造幣局の業務についての基本的なことや、仕事を行う上で求められる行動と責任について学びます。また、研修期間中、実際に製造現場における業務を知っていただくことを目的として、本・支局の現場研修を実施しています。

採用後約２カ月間の新規採用職員研修を修了した後、各職場に配属となります。

主なカリキュラム

- 業務についての基礎知識
- 社会人の基本として必要なビジネスマナー
- 現場研修（貨幣製造工程、勲章製造工程での現場研修等）

一般総合研修

一定の勤続年数（３～５年）に達した職員を対象に、約１カ月間職務遂行上求められる基礎的な知識を再確認した上、さらに専門的な知識の習得に努めることを目的として実施しています。

主なカリキュラム

- プレゼンテーション
- アカウンティング・原価計算
- 生産管理・品質管理
- マーケティング

監督者研修

造幣局の求める各階層の役割を十分に自覚し、強い責任感を持って仕事に取り組む人材を育成することを目的として、係長、課長補佐、課長等の昇任後に、各役職に求められる能力を養成する研修を実施しています。

主なカリキュラム

- 仕事と人のマネジメント（係長研修）
- 管理・監督者のあり方、部下指導（課長補佐研修）
- 課題設定力・問題解決力（課長研修）
- コンプライアンスに関する研修（全階層）

国外派遣研修

海外業務に関連する職員を育成するため、選考された職員の語学力の向上を図るとともに、一定の語学レベルに達した時点で国外の大学に派遣しています。

過去の国外派遣研修においては、アメリカの大学において経営に関する科目（管理会計論、組織論、ファイナンス、マーケティング等）を学んで、グループワークやプレゼンテーションを中心とした課題に取り組み、研修修了後は海外業務に関する部署において活躍している職員もいます。

職務能力向上研修

人事労務管理、財務・経理、販売管理及び技術管理等の業務に従事する職員を対象に、職務の専門性を一層高め、能力向上を図ることを目的として実施しています。

主な研修・試験

- ビジネス・キャリア検定試験（労務管理、生産管理等）
- 販売士
- 原価計算、財務諸表分析、簿記
- 貿易実務（英文契約）
- 知的財産権

自己啓発支援

専門的知識及び技能の習得を図ろうとする職員の自己啓発意欲を促進・向上させるため、幅広い分野について予め選定した通信教育による学習活動を支援しています。

主な通信教育講座

- 語学（TOEICテスト実践トレーニング、実用英語講座）
- 資格取得（日商簿記検定、社会保険労務士講座）
- ビジネススキル（問題発見・解決、パソコン 等）
- 生産・技術（品質管理、工程管理）

Q&A

採用、就業条件について気になることにお答えします。

Q1 職員の身分は国家公務員ですか。

A

職員の身分は国家公務員です。

造幣局は独立行政法人の中でも行政執行法人に位置付けられています。独立行政法人通則法により、行政執行法人の職員の身分は国家公務員とする旨が定められています。

Q2 国の行政機関における造幣局の位置付けはどのようなものですか。また、行政執行法人とは、何ですか。

A

造幣局は財務省の特別の機関でしたが、平成15年4月に独立行政法人となり、平成27年4月からは、その中でも行政執行法人と位置付けられました。

行政執行法人とは、公共上の事務等のうち、国の行政事務と密接に関連する業務を、国の相当な関与の下に確実に行うことを目的とした法人です。

Q3 学生時代の専攻が採用にあたって有利・不利になることはありますか。

A

学生時代の専攻が採用に有利・不利になることはありません。造幣局では、人物・能力本位で採用しており、特定の分野に偏ることなく、多様な人材を採用しています。仕事をする上で必要な知識は、日々の業務を通じて習得できるほか、各種研修の機会も準備されているので心配はいりません。

Q4 採用されやすい試験区分はありますか。

A

造幣局は「モノづくり」を中心としているため、大きく区分して、採用数は技術系の試験区分からのほうが行政系よりも多くなっているのは確かですが、試験区分によって採用されやすい、または採用されにくいといったことはありません。入局後も、試験区分によってキャリアパスが限定されることはありません。技術系で採用されても、事務系の業務に携わっている職員も多くいます。

Q5 採用試験前に取得しておくと有利な資格はありますか。

A

特に有利な資格はありません。語学力や簿記等の資格があれば、業務の理解や習熟に役立ちますが、配属後には知識習得のための各種研修の機会が用意されています。ここで知識を習得し、その力を発揮していただければ十分です。

Q6 技術系で採用になると、工場の現場で製造作業も経験できるのですか。

A

配属部署によっては、作業の管理、資材等の調達、設備点検、技術指導などの業務を通して、工場等での製造作業に携わる場合がありますが、直接、製造作業に従事することはありません。

Q7 行政系と技術系が一緒に仕事をすることがありますか。

A

貨幣等の製造は、行政系は予算や人員等の組織運営の観点から、技術系は生産管理や製造工程の観点から問題がないことを確認した上で実施していくため、関係部署の連携が不可欠です。何れの職種も協力して業務を行う必要があります。

Q8 転勤や造幣局以外での勤務はあるのでしょうか。

A

本局（大阪）以外に、さいたま支局、広島支局で勤務する場合があります。また、財務省本省に出向し、勤務する場合もあります。

造幣局では、若手職員の育成方針を定めており、係員の間は、一度は転勤や出向の機会を与えることとしています。

Q9 女性にとって働きやすい職場なのでしょうか。

A

造幣局では、超過勤務の縮減や休暇の取得促進など、ワーク・ライフ・バランスを積極的に推進し、働きやすい職場環境の整備に努めています。出産後に「育児休業」を取得後復職し、仕事と育児を両立して活躍している女性職員もたくさんいます。

また、女性職員のさらなる登用の拡大に向けて、女性が活躍できる職域の拡大や研修等を通じたキャリア形成支援にも取り組んでいます。

Q10 残業はどの程度ありますか。また、休暇の取得状況はどうですか。

A

業務量や業務内容は部署や担当、また時期等によって多様ですので、一概にどの程度ありますと示すことはできませんが、例えば、作業部門では作業計画に基づいた週4日・各2時間の計画残業が実施される場合があり、関連部門においてもそれに対応した勤務体制となることがあります。

有給休暇は1年間に20日付与され、職員が1年間に16日以上取得できるよう休暇の取得を推進しています。

Q11 採用状況はどのようになっていますか。

A

（単位：人）

	採用年毎	令和4年			令和5年			令和6年			令和7年		
区分		男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
総合職	行政、法律、経済	1		1			0			0			0
	工学	1		1	1		1	1	1	2			0
一般職（大卒程度）	行政		3	3	1	2	3	1	1	2	3	5	8
	デジタル･電気･電子	2		2	1		1	1		1	1		1
	機械			0	2		2	1		1			0
	化学	1	1	2		2	2	1		1	2		2
一般職（高卒者）	事務	2	4	6	1		1		2	2		1	1
	技術			0			0	3		3			0
合計	総合職	2	0	2	1	0	1	1	1	2	0	0	0
	一般職（大卒程度）	3	4	7	4	4	8	4	1	5	6	5	11
	一般職（高卒者）	2	4	6	1	0	1	3	2	5	0	1	1

採用担当者からのメッセージ

造幣局は、通貨制度を支える貨幣を安定的に製造することにより、国の社会的基盤を支える役目を担っています。一口に貨幣の製造といっても、この採用案内で紹介するように関連する業務内容は多岐にわたり、単純ではありません。製造に関わる技術的な業務を専門にする部署もあれば、いわゆる行政的な業務を専門にする部署もあります。造幣局では、採用区分や試験区分等に関わらず、多様な業務に対応するための人事が行われており、専門性を生かすことも、様々な分野にチャレンジすることもできます。

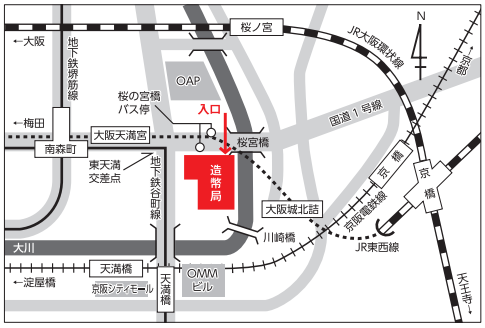
就職活動中は、どのような業務を志望するか迷うこともあると思います。どんな業務であれ前向きに取り組める方であれば、様々な業務を経験できる造幣局は魅力的な職場だと思いますので、ぜひ一度お越しいただき、雰囲気を感じてください。皆さんとお会いできることを楽しみにしています。

本局総務部　人事課

JAPAN MINT

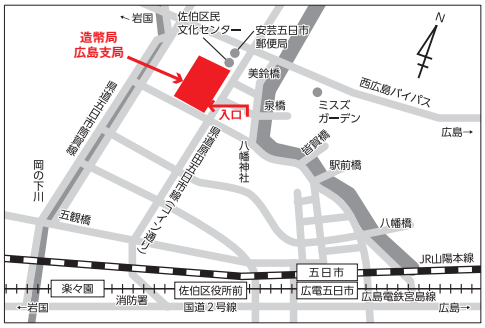
ACCESS

【本　局】
〒530-0043 大阪市北区天満1-1-79
TEL 06-6351-5158（直通）
総務部人事課（人事担当）



【さいたま支局】
〒330-0835 さいたま市大宮区北袋町
1-190-22
TEL 048-645-5893（直通）
総務課（人事担当）

【広島支局】
〒731-5128 広島市佐伯区五日市中央6-3-1
TEL 082-922-2093（直通）
総務課（人事担当）



職員採用情報（造幣局ホームページ）

＼ 各種 SNS にて新製品や桜の通り抜け情報を発信中！／

Facebook

YouTube
(@japanmint)

Instagram
(@japanmint_official)

X
(@JapanMint_IAA)